

金持ち治療 普通の治療 何が違うのか?

いつ、どんなときに血糖値が変化するか、急激に上がるのは何を食ったときなのか？

糖尿病を患っている人なら誰もがこのことを気にしているはずだ。

血糖測定

心筋梗塞、脳卒中などの重大病の予防につながるからだ。

しかも、それを知ること、インスリンを打ったり、薬を飲んで

いる人は、いつ、どのくらいの量を打つ、あ

「最新のCGM検査器 様CGMも保険適用さる、などが条件です。

るいは飲めばいいのかわかり、無駄な治療を省くこともできる。糖尿病患者の多くはこれまで血糖自己測定(SMBG)を1日3〜4回程度行ってきたが、いまは24時間持続血糖測定(CGM)写

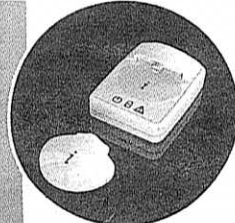
脳卒中、心筋梗塞、認知症などの予防にもつながる血糖値測定の新兵器

検査を行うケースが多いのです」(別の糖尿病専門医)

「1日4回インスリンを打っていた男性が、1日1回になり、血糖値が大きく改善したケースもありました。また、糖尿病は単に血糖値が高いことが問題ではなく、食後血糖値が急激に上がると、血管の内側の壁がダメージを受けて、脳卒中や心

筋梗塞のリスクが高くなるのが患者さんに理解されるようになった。夜間低血糖の発見につながることも大きなメリットです。低血糖が多い人は認知症になりやすいと説明すると、さらにモチベーションが上がります」(前出の辛院長)

CGMを使う使わないの差は10年、20年後にさらに大きな形で表れるかもしれないのだ。



しかも、機械がひとつ数十万円するため、大抵、治療の効果が量に備えている病院は少ない。そのため、大抵、治療のモチベーションに入院している人だけならば事実上使えないし、保険適用にはならませ

ただし、その効果は筋梗塞のリスクが高くなるのが患者さんに理解されるようになった。夜間低血糖の発見につながることも大きなメリットです。低血糖が多い人は認知症になりやすいと説明すると、さらにモチベーションが上がります」(前出の辛院長)